

散歩道

最近 多くの知人が「NHKをはじめ民放でも観たいものが減った」という。同感の私がある。それでは連続テレビ小説「ひよっこ」、「やすらぎの郷」、「黒皮の手帳」である。すべて録画視聴ですが「ひよっこ」は昭和の良心、「やすらぎ」は高齢化の悲哀、「黒皮」は松本清張の怒りを感じられるからです。

ところが先日「しんぶん赤旗」紙上で戸崎賢二氏（「NHKが危ない！」の共著者）が「今夏のNHKの真実」「戦慄のインパール」

「東京戦後ゼロ年」など。次々と出てくる新事実と証言が新たな視点であの戦争を分析し、いま戦争

を知らない政権が進める危うさと、膨張させる軍事予算「戦争法」の実践的進行を憂うる良心が、先の報道制作へのたたかいがあったのもと思えます。いまや「アベの放送局への変貌か？」のNHKにあって、視聴者として良い番組には局への励ましと感動を伝えよう！ 政府のNHKではなく「国民のためのNHK」であるために！

今里 哲 人権コンサートに感動！

「オール5区市民の会」主催のコンサートは「今里 哲」シャンソン歌手のテーマ「自分らしく生きる・生きてゆく」と人権やLGBTのメッセージをトークと歌で会場を沸かせました。

いくつかの見聞きした感想を紹介します。

- 歌は、あまり期待していなかったが、世相批判と、差別に対する怒り、人間愛に満ちたトークに感動した。
- 「ヨイトマケノ歌」や「鳩」などは、実によかった。
- ピアノ伴奏は抜群だった・約90分休みなく弾きつめは凄いい。
- ライブの良さは会場聴衆と一体感の素晴らしさか。
- 本とCDで知ったけど、差別の中で、逞しく生き抜いてこられた歌手に拍手！



【写真】今里 哲さん。（HPから）

●声の良さと、迫力は生き様が出ていたと思う。それにしても、協力券1,000円では安価すぎる。主催者努力に敬意を。（日比野とみはる）

【あつし通信 No.38】

大きく変わっています。さらに国は国庫負担を1984年から「医療費の45%（給付費60%）」から「給付費の50%」に引き下げて、国の責任を後退させたことにあります。退職後など75歳以下の方がほとんど加入し、保険料が高いという声のある国保保険料を一般会計から法定外繰入れして引き下げるよう要望しました。

計画では迎賓フロアとして頻度の低いものにワンフロアで豪華な造り、屋上の展望エリア、地域の総合庁舎や県立高校の老朽化など、県民の負担増や施設規模、他の老朽化施設について意見が出ました。新たに作る県民サービス棟は2023年以降に財政状況をみて後回しで検討するということにも批判がありました。（おせき・あつし「土岐市議」）



●9月の一般質問

9月の一般質問では、国民健康保険の制度的な問題点と保険料の引き下げについて要望しました。

●県庁舎、建て替え

県庁舎の建て替えについて説明会に参加しました。築51年経過した防炎拠点となる施設にするということでした。

スケジューリングは2018年から入札し、2022年頃完成予定だということです。広さは現状約5万5000㎡の12階建から約79000㎡の20階建+県民サービス棟、建設費約550億の予定です。



「相手は自分の鏡」ということは最近よく感じることで、自分の機嫌の悪さが相手の機嫌を悪くしていくことがあります。その相手の対応にさらにも機嫌が悪くなる……というふうになっていくとまさに負の連鎖です。その相手が妻だと家の中の雰囲気は最悪です▼その逆もまた然りです。自分の機嫌が悪かったり落ち込んでいたりしても、こやかに話しかけられると気分が明るくなってきます。娘の笑顔なんてもう最高です▼だから人と接する時には、特に機嫌が悪そうな人にはなるべく明るく話しかけようと思うようになります。なかなかな難しいものです。影響はお互い様ですから、こちらが負けて機嫌が悪くなってしまうときもあります▼ただ、自分の影響がその場限りで済めばよいのですが、それが子どもの人格形成に影響を与えているのではなにかと思われ時があります。まだ6歳なのに怒りかたや表情が生意気になった長男を見た時などです。そんな時はヒヤッとして、せめて家では明るく、怒らないようにしようと思うのですが、相手が自分の子だからその難しさがあります▼大人としても親としてもまだまだ未熟だと思ふ今日この頃です。

おげきあつしと語る会

8月26日午後、おげきあつし市議と語る会(第4回市政報告会)(以下「語る会」と略)が、泉町大坪クラブで開催され、約30人が参加しました。

おげき市議が準備した資料に沿って説明の後、質疑と意見交換をしました。

一つ目のテーマは「家庭ごみの有料化」

今月から、市による住民説明会が行われ、来年4月からごみ有料化が開始されるが、①有料化がごみ排出量の抑制になるのか? ②有料化が、とりわけ低所得層や多子世帯の過重負担となることへの懸念などが問題点として指摘されました。



【写真】 座席をぎっしり埋めた参加者。

ごみの有料化、総合病院、新庁舎の建設など活発に

有料化については、市議会で賛成10(新世クラブ、公明党など) 反対7(共産党、市民ライブなど)で可決されたが、付帯決議にある「二年間の有料化の検証」を突のあるものにするためにも、住民説明会などにおいて住民の声を行政に届けることが必要といった意見が出されました。

二つ目のテーマは「土岐市立総合病院(病院事業改革プラン)」

これまでの流れは、病床数を減らして医療費を削減するという国の方針に沿って進められてきており、今後のスケジュールは、①来年4月からの院外薬局化、②今年度中に土岐市、瑞浪市、JA岐阜厚生連の三者で、東濃中部の医療提供体制の具体的な方向性の検討が行われることから、これらの動向を注視する必要があります。

三つ目のテーマ、市役所新庁舎については、現在の市役所敷地内に建設費51億円をかけて平成31年度完成予定であることが説明されました。

最後に、参加者の感想として、①土岐市議会が10月に開催する議会報告会のテーマがハード整備に限られているのに対して、今回の「語る会」が生活に関連の深いテーマを取り上げていること、②市政の課題が山積する中で、議会の中から議員定数削減の提案がなされていることへの疑問、③おげき市議の資料と説明がわかりやすかったこと、④「語る会」が地域に定着してきたことを評価する、などが出されました。

弾く人・聴く人・歌う人 みんなが主役

8月20日、年金者組合などの実行委員会主催の第15回平和コンサートが開催されました。企画・運営などすべてが手作りのコンサートです。「弾く人・聴く人・歌う人みんなが主役」がウリです。

今年は14組の個人・グループが出演、3時間近くの公演でした。フォークダンス、フラダンス、ギター・ピアノ・アコーディオン・オカリナ・トランペットなどの演奏のほか、詩吟、朗読、独唱、群読など

盛りだくさんでした。小5年の女児、盲目のピアニストの演奏には、ひととき熱い拍手が送られました。会場で年金署名、治安維持法犠牲者に国家賠償を求める署名なども取り組まれました。

手づくり平和コンサート



【写真上】 フラダンスチームの皆さん。
【写真下】 年金者組合うたごえサークルの皆さん。



読者の「声」

読者の声①

「民主とき」は毎度同じ執筆者が目立つ。もっと広範の読者・市民の声を載せてほしい (泉町・Fさん)

読者の声②

「しんぶん赤旗」日曜版でのヒアリの記事はよかった。コピーして何人かの知人に配った。(泉町・Nさん)

読者の声③

「しんぶん赤旗」日曜版に木股文昭さんが写真付きで大きく報道されていたことに感激。(土岐津町・N)

編集委員会から

「民主とき」は毎月、会議を開き記事と担当者を相談しています。「散歩道」と「くわ」は数人の担当者が順番に執筆しています。今後とも、多くの読者、市民の声を反映した紙面作成に努めます。